

教科名	社会 (地理的分野) (歴史的分野)	週時間数	3	学年	2
使用教科書 及び 副教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校社会地理的分野 (帝国書院)</li> <li>・中学校社会科地図 (帝国書院)</li> <li>・中学校歴史的分野 (日本文教出版)</li> </ul>				
指導の重点	「思考力」 「学ぶ意欲」 「知識・技能」				
教科のねらい	社会科では、多面的・多角的な見方や考え方ができる学習の場として、生徒の、「思考力」と「学ぶ意欲」を育むことを目指して学習をしていきます。また、基礎的な知識を身につけるとともに、他国の文化や伝統を尊重できる国際人としての自覚を身につけることも目指していきます。				
授業の進め方	授業は教科書とワークを中心に進めていきます。学習する内容によっては、班別で学習することもあります。また、調べ学習として図書室や家庭での学習を求めることもあります。				
定期考査	授業で学習したことを中心に問題を出題しますが、観点別に問題を出題します。教科書の内容を覚えるだけではなく、資料を読み取る力、思考力、表現力も必要となります。				
学習方法	社会は覚えることが多くて苦手という人もいますが、誰でも一度に多くのことを覚えるのは難しいことです。何度も繰り返し学習することが大切になります。それと、「なぜそうなるのか」という疑問をもって学習することも大切にして下さい。問題集やワークを繰り返して学習することにより、基本的な知識を身につけることも大切です。				

	観 点	評価規準	評価方法
評   価	①社会的事象への 関心・意欲・態度	<p>地理的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、広い視野にたって我が国の国土の特色についての認識を養おうとする。</p> <p>よりよい社会を考え自覚をもって責任を果たそうとする。</p>	観察・発表・ 堤出物・宿題
	②社会的な思考・判断・表現	<p>地理的事象から課題を見だし、日本や世界の地域的特色を地域の規模に応じて環境条件や人々の営みなどと関連づけて多面的・多角的に考察し、公正に判断する。</p> <p>社会的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断する。</p> <p>普段から各種の資料に親しみ、社会的事象に関する有用な情報を適切に選択して活用するとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現する。</p>	観察・ノート プリント・テスト
	③社会的事象についての 知識・技能	<p>世界の日本の地域構成、地域の規模に応じてとらえた地域的特色、世界と比べてみた日本の地域的特色などを理解し、その知識を身につけている。</p> <p>社会的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身につけている。</p> <p>地図や統計、映像など地域に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して活用するとともに、追求し考察した過程や結果を地図化したり報告書などにまとめたりする。</p>	ノート・テスト

年間授業計画

学期	分野	単元
1	歴史的分野  地理的分野	第3編 中世の歴史 1 鎌倉幕府の成立 2 室町幕府と下剋上  第2部 日本のさまざまな地域 第3章 日本の諸地域 1 九州地方 2 中国・四国地方 3 近畿地方 4 中部地方 5 関東地方 6 東北地方 7 北海道地方 第4章 身近な地域の調査
2	歴史的分野	第4編 近世の日本 1 中世から近世へ 2 江戸幕府の成立と東アジア 3 産業の発達と元禄文化 4 幕府政治の改革と農村の変化
3	歴史的分野	第5編 近代の日本と世界【第1章 日本の近代化】 1 欧米の発展とアジアの植民地化 2 近世から近代へ 3 近代国家へのあゆみ 4 立憲制国家の成立 5 日清・日露の戦争と東アジアの動き 6 近代日本の社会と文化 第5編 近代の日本と世界【第2章 二度の世界大戦と日本】 1 第一次世界大戦と戦後の世界 2 大正デモクラシーの時代 3 世界恐慌と中国との戦争 4 第二次世界大戦と日本